



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ケイヒン株式会社

コード番号 9312 URL <http://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大津 育敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,517	△15.2	197	△59.0	203	△59.9	143	△58.4
28年3月期第1四半期	12,395	5.7	480	1.8	507	6.9	344	4.9

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 45百万円 (△91.3%) 28年3月期第1四半期 525百万円 (54.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.20	—
28年3月期第1四半期	5.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第1四半期	41,117		14,550		35.4	
28年3月期	41,658		14,831		35.6	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 14,550百万円 28年3月期 14,831百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,100	△13.0	350	△56.9	300	△60.2	200	△60.6	3.06
通期	43,000	△6.2	950	△35.1	790	△38.3	550	△40.8	8.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	65,364,457 株	28年3月期	65,364,457 株
29年3月期1Q	68,661 株	28年3月期	68,661 株
29年3月期1Q	65,295,796 株	28年3月期1Q	65,296,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成29年3月期の個別業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	△13.4	200	△54.7	180	△59.0	120	△59.2	1.84
通期	38,000	△5.6	550	△39.3	480	△43.0	320	△50.3	4.90

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 有

2. 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）のわが国経済は、生産や輸出は弱い動きとなり、企業収益の改善が鈍化したほか、円高の進行もあり、景気回復の動きに足踏みがみられました。

このような環境の中、当社グループにおいては、倉庫保管や配送の取扱いが増加しましたが、輸出入貨物の取扱いや輸出車両の海上輸送の取扱いが減少し、港湾作業の取扱いも減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は105億1千7百万円（前年同期比18億7千7百万円の減収、15.2%減）となり、営業利益は国際物流事業の売上減等により1億9千7百万円（前年同期比2億8千3百万円の減益、59.0%減）、経常利益は2億3百万円（前年同期比3億3百万円の減益、59.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千3百万円（前年同期比2億1百万円の減益、58.4%減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減(△印減)	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	6,273	6,519	245	3.9
国際物流事業	6,381	4,251	△2,129	△33.4
セグメント間内部売上高	△260	△253	6	—
合計	12,395	10,517	△1,877	△15.2

国内物流事業

国内物流事業におきましては、流通加工業は、取扱いの減少により、売上高は12億2千万円（前年同期比0.9%減）となりましたが、倉庫業は、金属製品等の取扱い増により倉庫保管の取扱いが増加し、売上高は15億1千2百万円（前年同期比6.8%増）となり、陸上運送業は、配送取扱い件数が増加し、売上高は35億7千8百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は65億1千9百万円（前年同期比2億4千5百万円の増収、3.9%増）となりましたが、営業利益は新規施設の開設等に伴う固定費の増加により4億5千1百万円（前年同期比9千万円の減益、16.7%減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、海運貨物やプロジェクト貨物の取扱いが減少したほか、輸出車両の海上輸送の取扱いが減少し、売上高は35億4千2百万円（前年同期比35.9%減）となり、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は5億1千2百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

また、航空運送取扱業は、輸入貨物の取扱いが減少し、売上高は1億9千7百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は42億5千1百万円（前年同期比21億2千9百万円の減収、33.4%減）となり、営業利益は輸出車両・大型のプロジェクト貨物の取扱いが減少したこと等により、1億1千6百万円（前年同期比1億7千7百万円の減益、60.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したほか、減価償却に伴い有形固定資産が減少したことや株式相場低下による時価の下落により投資有価証券が減少したこと等により、前連結会計年度末比5億4千1百万円減の411億1千7百万円となりました。

負債合計は、営業未払金の増加がありましたが、借入金等の減少により、前連結会計年度末比2億6千万円減の265億6千6百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金およびその他の包括利益累計額の減少により、前連結会計年度末比2億8千1百万円減の145億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

輸出車両や大型のプロジェクト貨物の取扱いの減少に加え、円高の進行もあり、国際物流事業が低調に推移し、売上高・利益とも期首予想を下回る見込みとなりましたので、連結・個別とも第2四半期累計期間および通期業績予想を修正いたします。

平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四 半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,500	775	720	450	6.89
今回修正予想 (B)	21,100	350	300	200	3.06
増減額 (B-A)	△2,400	△425	△420	△250	—
増減率 (%)	△10.2	△54.8	△58.3	△55.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	24,249	812	754	507	7.78

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,500	1,550	1,380	930	14.24
今回修正予想 (B)	43,000	950	790	550	8.42
増減額 (B-A)	△3,500	△600	△590	△380	—
増減率 (%)	△7.5	△38.7	△42.8	△40.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	45,849	1,464	1,281	929	14.23

平成29年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四 半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,200	425	425	285	4.36
今回修正予想 (B)	18,500	200	180	120	1.84
増減額 (B-A)	△1,700	△225	△245	△165	—
増減率 (%)	△8.4	△52.9	△57.6	△57.9	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	21,361	441	439	293	4.50

ケイヒン(株) (9312) 平成29年3月期 第1四半期決算短信

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	850	800	540	8.27
今回修正予想 (B)	38,000	550	480	320	4.90
増減額 (B-A)	△2,000	△300	△320	△220	—
増減率 (%)	△5.0	△35.3	△40.0	△40.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	40,274	906	841	643	9.86

なお、上記の業績予想の修正に関しましては、本日、「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途公表しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,023	1,741
受取手形及び営業未収金	5,032	5,144
貯蔵品	11	12
繰延税金資産	36	114
その他	922	856
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	8,017	7,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,825	45,884
減価償却累計額	△29,630	△29,922
建物及び構築物(純額)	16,195	15,962
機械装置及び運搬具	3,115	3,204
減価償却累計額	△1,779	△1,835
機械装置及び運搬具(純額)	1,336	1,368
工具、器具及び備品	2,787	2,798
減価償却累計額	△2,466	△2,495
工具、器具及び備品(純額)	321	302
土地	8,074	8,074
リース資産	683	654
減価償却累計額	△303	△299
リース資産(純額)	379	355
建設仮勘定	3	1
有形固定資産合計	26,310	26,065
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	570	551
無形固定資産合計	1,547	1,528
投資その他の資産		
投資有価証券	4,646	4,497
繰延税金資産	189	175
その他	931	976
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	5,743	5,626
固定資産合計	33,601	33,219
繰延資産		
社債発行費	39	34
繰延資産合計	39	34
資産合計	41,658	41,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,608	3,869
短期借入金	4,662	4,847
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
リース債務	110	108
未払法人税等	153	57
繰延税金負債	0	0
その他	1,588	1,983
流動負債合計	12,122	12,867
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	8,362	7,666
長期未払金	133	109
リース債務	299	275
役員退職慰労引当金	1,000	716
退職給付に係る負債	2,552	2,550
その他	355	380
固定負債合計	14,704	13,699
負債合計	26,827	26,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	4,891	4,708
自己株式	△13	△13
株主資本合計	14,670	14,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	478	444
為替換算調整勘定	△94	△165
退職給付に係る調整累計額	△222	△215
その他の包括利益累計額合計	161	63
純資産合計	14,831	14,550
負債純資産合計	41,658	41,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,395	10,517
売上原価	11,465	9,824
売上総利益	929	692
一般管理費	448	495
営業利益	480	197
営業外収益		
受取利息及び配当金	95	103
その他	12	11
営業外収益合計	107	114
営業外費用		
支払利息	75	59
為替差損	0	40
その他	5	7
営業外費用合計	80	107
経常利益	507	203
特別利益		
固定資産売却益	3	—
その他	1	—
特別利益合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	512	203
法人税、住民税及び事業税	70	34
法人税等調整額	97	25
法人税等合計	167	60
四半期純利益	344	143
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	344	143

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	344	143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	△33
為替換算調整勘定	△26	△70
退職給付に係る調整額	3	6
その他の包括利益合計	180	△97
四半期包括利益	525	45
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525	45
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,046	6,348	12,395	—	12,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	227	32	260	△260	—
計	6,273	6,381	12,655	△260	12,395
セグメント利益	542	294	837	△356	480

(注) 1 セグメント利益の調整額△356百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△357百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,297	4,219	10,517	—	10,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	32	253	△253	—
計	6,519	4,251	10,771	△253	10,517
セグメント利益	451	116	568	△371	197

(注) 1 セグメント利益の調整額△371百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。